

日本ソーシャルワーカー協会主催  
講座「施設の本質を考える」(全4回シリーズ)開催要綱  
— 施設が本来的に有するメカニズムの検証 —

21世紀も四半世紀が過ぎた現在、高齢者や障がい者の福祉を目指すはずの「入所施設」において、職員による虐待・暴力事件、凄惨な殺傷事件などが後を絶たず、法律による防止策や職員の人権研修の義務化など、外部からの働きかけの必要性が高まっている。

このような状況を生み出す原因を、一部職員の悪意・資質の欠如、あるいは施設管理の未熟さ等のみ帰することは妥当であろうか？ 善意で就職したはずの職員が、なぜ暴力に走り殺意にまで至るのか？ 一部の研究には、施設(Total Institution)そのものに人間疎外・暴力を生み出すメカニズムを示唆する知見が存在することも事実である。

今回の講座では、施設の動きを見つめてきた専門家による考察を基に、現代社会の「施設」、とりわけ「施設」という閉鎖空間に自ずと存在する「機能・脱人間化・排除のメカニズム」を検証し、施設経営やソーシャルワーク実践に新たな視座を提供し、入所者・利用者そして管理者のWell-being実現に資することを目的とする。

1. 主催：日本ソーシャルワーカー協会（JASW）
2. 共催：沖縄ソーシャルワーカー協会（OASW）
3. 後援：日本精神保健福祉士協会、日本医療ソーシャルワーカー協会、日本社会福祉士会、日本介護福祉士会、日本ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、日本高齢者虐待防止学会、日本犯罪社会学会、日本社会福祉学会、日本生活指導学会、日本地域福祉学会、全国老人福祉施設協議会、全国手をつなぐ育成会連合会、全国社会福祉法人経営者協議会、大阪精神医療人権センター、東北福祉大学同窓会、介護事業所管理者会、日本科学技術ジャーナリスト会議、朝日新聞厚生文化事業団、監獄人権センター、DPI日本会議、日本障害者虐待防止学会、日本弁護士連合会、全国権利擁護支援ネットワーク、日本福祉施設士会（予定、法人格省略）
4. 開催方法：ZOOM（又はウェビナー）によるオンライン配信
5. 対象者：JASW・OASW・JFSW会員、福祉・医療関係者、研究者、一般希望者
6. 主な内容：以下の予定で講座（全4回）を開催する。（各講義：90分・質疑：30分）

◎ 第1回：2026年5月30日（土）13:30～16:00

講師：大熊 由紀子・大熊 一夫（元朝日新聞記者、科学ジャーナリスト）

演題：「社会の棄民」は終わったのか？ —『ルポ・精神病棟』が突きつける真実—

内容：1970年の『ルポ 精神病棟』の告発から半世紀。かつて暴かれた「くすり漬け」「収容ビジネス」「人権無視」の構造、そして社会の排除の論理は解消されたのか？ 一般社会・健常者・収容施設に流れる排除・拘束・非人間化の実態、これらを引き起こす根本原因について考察する。

◎ 第2回：2026年6月27日（土）13:30～16:00

講師：佐々木 隆志（東京福祉大学副学長）

演題：殺意はなぜ「正当化」されるのか —津久井やまゆり園事件に見る排除の論理—

内容：社会を震撼させた凄惨な事件（2016年）は、特異な個人が引き起こした事件として片付けられるのか？犯人との面接・事件後の施設・関係者・社会や施設の動きから、施設が存在する意味・組織特有の風土・排除の論理が生成され正当化されるプロセスについて考察する。

◎第3回：2026年7月25日（土）13:30～16:00

講師：山入端 津由（元矯正施設心理専門員、沖縄国際大学名誉教授、犯罪・臨床心理学）

演題：善人が悪魔に変わる時 —伝説的な心理学実験が証明した「役割」の恐怖—

内容：今は伝説的な「スタンフォード監獄実験（1971）」やミルグラム実験（アイヒマン実験、1961年）を再検証し、悪意のない「普通の人」が、「状況」と「役割」の付与によって、いかに容易に倫理観を麻痺させ蛮行に至るのか？人間の個性を奪い、脱人間化を招くメカニズムについて心理学の視点から考察する。

◎第4回：2026年8月29日（土）13:30～16:00

講師：保良 昌徳（元沖縄国際大学教授、現特養ホーム施設長、JASW会長）

演題：誰のための施設？何のための施設？ —ゴッフマンの視座から問い直す—

内容：長年の施設現場（特養）との関わりとゴッフマンの『アサイラム』（1961年）で示された概念をクロスさせ、施設が孕む「様々な力動性」や支援者が陥りやすい「管理の罠」等について考察し、「施設」に関する学際的研究の必要性・施設のソーシャルワーカーに求められる固有の視点・役割等について考察する。

7. 申し込み

お申込みは、右のQRコードまたは下記URLから、必要事項をご記載いただき、その後、参加費の振り込みをお願いします。

申込み用URL⇒ <https://x.gd/X2tqs>

参加は、全4回または1～3回の参加が可能です。

8. 参加費：

各回2000円、ただし4回分一括払いの場合：6000円

振込先 金融機関：三菱UFJ銀行

窓口支店：麹町中央支店

口座番号：普通 0069517

口座名義：ニホンソーシャルワーカーキョウカイ

事務の都合上、納入済みの参加費の返金には対応致しかねます。ご了承ください

9. その他

全4回お申込みの方には、4回分をまとめた「報告書」（電子版）を進呈致します。

また、インターネット関連のご質問にも対応致しかねますのでご了承ください。

10. 問い合わせ：

日本ソーシャルワーカー協会 事務局

住所：〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町3番7号 森山ビル西館4階401号室

電話：03-5913-8871 FAX：03-5913-8872

E-mail：[jasw@jasw.jp](mailto:jasw@jasw.jp)



善意で就職したはずの職員が、なぜ虐待や暴力に走り、殺意に至るのか？  
個人の資質・指導法だけの問題か。施設という閉鎖空間にも問題があるのでは。種々の知見から考察を試みる。

## — 善意が悪意に変わる時 —

現代社会における施設の機能・本質を考える

### オンライン講座「施設の本質を考える」（全4回シリーズ）

【後日視聴OK】 お申し込み後、日程の都合でご参加いただけなかった場合、事前に連絡があった方に限り、後日オンデマンド視聴の機会を提供致します。お忙しい現場の方も安心してご参加ください。

21世紀の今、後を絶たない、社会福祉施設や医療施設等における職員による虐待行為や凄惨な死傷事件。善意の気持ちで就職したはずの職員が、なぜ暴力に走り、殺意にまで至ってしまったのか。それは一部の「特異な個人」による過ちか、それとも「指導不足」が生み出した悲劇なのか。今回の4回のシリーズでは、1973年の『ルポ精神棟』による告発・津久井やまゆり園事件・施設という閉鎖空間や役割が人間に与える研究の知見などを、あらためて見直し、「脱人間化」「排除の論理」等について検証を試みる。

▶ プログラム(各回 13:30～16:00 /時間の都合上、参加者から質問は、報告書の中で取り上げます。

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 第1回<br>2026年<br>5月30日(土) | 大熊 由紀子・大熊 一夫 (元朝日新聞記者・科学ジャーナリスト)<br>「社会の棄民」は終わったのか？ —『ルポ・精神棟』が突きつける真実—<br>1970年の告発から半世紀。「くすり漬け」「収容ビジネス」「人権無視」の構造は解消されたのか。収容施設に流れる排除・拘束・非人間化の実態と根本原因を考察する。                       |
| 第2回<br>2026年<br>6月27日(土) | 佐々木 隆志 (東京福祉大学副学長)<br>殺意はなぜ「正当化」されるのか —津久井やまゆり園事件に見る排除の論理—<br>社会を震撼させた凄惨な事件(2016年)は特異な個人の過ちとして片付けられるのか。犯人との面接・事件後の施設・社会の動きから排除の論理が正当化されるプロセスを考察する。                              |
| 第3回<br>2026年<br>7月25日(土) | 山入端 津由 (元矯正施設心理専門員・沖縄国際大学名誉教授、犯罪・臨床心理学)<br>善人が悪魔に変わる時 —伝説的な心理学実験が証明した「役割」の恐怖—<br>「スタンフォード監獄実験(1971)」やミルグラム実験(1961年)等を再検証。悪意のない「普通の人」が空間の隔離と役割付与によって倫理観を麻痺させ蛮行に至るメカニズムを心理学に考察する。 |
| 第4回<br>2026年<br>8月29日(土) | 保良 昌徳 (JASW会長、特養老人ホーム施設長、元沖縄国際大学教授)<br>誰のための施設？何のための施設？ —ゴッフマンの視座から問い直す—<br>長年の施設現場(特養)の経験とゴッフマンの『アサイラム』(1961年)をクロスさせ、施設が孕む「力動性」や「管理の罫」を考察、ソーシャルワーカーに求められる固有の視点を言及する。           |

▶ 対象

JASW・JFSW会員、福祉・医療・法務関係者、  
当事者団体、学生、一般希望者どなたでも

▶ 参加費

各回：2000円(資料代)  
4回一括：6000円

※納入済みの参加費の返金はご遠慮ください。ご了承下さい。

※4回一括の方には、後日報告書(電子版)を進呈致します。

▶ 申込み

下のURLまたはQRコードから

<https://x.qd/X2tqs>



▶ 開催方法

ZOOMオンライン方式  
※後日、オンデマンド配信(予定)

▶ 振込先

三菱UFJ銀行 麹町中央支店 普通 0069517  
名義：ニホンソーシャルワーカーキョウカイ

【後援】日本弁護士連合会・DPI日本会議・朝日新聞厚生文化事業団・日本精神保健福祉士協会・日本医療ソーシャルワーカー協会・日本社会福祉士会・日本介護福祉士会・日本ソーシャルワーク学会・日本社会福祉学会・日本子ども虐待防止学会・日本高齢者虐待防止学会・日本犯罪社会学会・全国老人福祉施設協議会・全国手をつなぐ育成会連合会・全国社会福祉法人経営者協議会・大阪精神医療人権センター・監獄人権センター・日本障害者虐待防止学会・全国権利擁護支援ネットワーク・日本福祉施設士会・東北福祉大学同窓会介護事業所管理者会・日本科学技術ジャーナリスト会議・日本生活指導学会・朝日新聞厚生文化事業団(予定、法人名省略)

【お問い合わせ】日本ソーシャルワーカー協会 事務局

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町3番7号 森山ビル西館4階401号室 TEL:03-5913-8871 FAX:03-5913-8872 E-mail: jasw@jasw.jp